

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

令和3年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算（速報値）の概要

※ この決算は、監査委員の審査を経て市会に上程され、認定を受けて確定します。

水道事業会計

料金改定により水道料金収入は44億円の増、純利益は100億円を確保

(1) 水道料金収入の増

3年度の水道料金収入は、2年度に比べ税込で44億円（6%）増加し740億円となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響等による在宅勤務・テレワークの拡大や外出自粛要請などが2年度に比べ緩和したことにより、家事用の使用水量は減少しましたが、料金改定により水道料金収入は20億円（4%）増加しました。一方で、商業施設など多量使用者は、2年度に比べ使用水量が若干回復したことなどにより、業務用の水道料金収入は24億円（11%）増加しました。

(2) 純利益の確保と累積資金残額の増

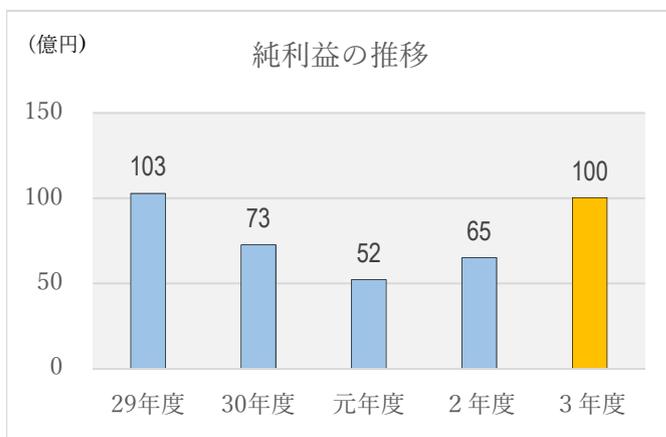
純利益は、3年7月からの料金改定による水道料金収入の増に加え、コロナ禍においても持続可能な事業運営を行っていくため徹底した事業見直しや不急事業の先送りなどに努めたこと、老朽管更新費用に係る修繕費が繰越となったこと等により、2年度に比べ35億円増加し100億円となりました。

予算で見込んだ純利益65億円と比較しても、35億円改善しています。

また、累積資金残額は、前年度に比べ9億円増加し183億円となりました。

(3) 企業債の活用

今後、増大する施設更新費用の財源として、2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、企業債残高は1,546億円となりました。



《水道事業会計の収支状況(税込)》

(単位: 億円)

	3年度	2年度	増△減
水道料金収入	740	695	44
うち家事用	491	471	20
(使用水量)	(31,360万㎡)	(31,839万㎡)	(△479万㎡)
うち業務用等	249	224	24
(使用水量)	(6,787万㎡)	(6,638万㎡)	(149万㎡)
純利益	100	65	35
累積資金残額	183	174	9
企業債残高	1,546	1,543	3

※端数処理により、差引が一致しない場合があります。

裏面あり

工業用水道事業会計

(1) 工業用水道料金収入

3年度の工業用水道料金収入は、2年度に比べ税込で**0.2億円(0.8%)増加し27.9億円**となりました。

(2) 純利益の確保

純利益は、2年度に比べ**0.6億円増加し7.7億円**となりました。

(3) 企業債の活用

2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、企業債残高は**33.3億円**となりました。

《工業用水道事業会計の収支状況(税込)》 (単位:億円)

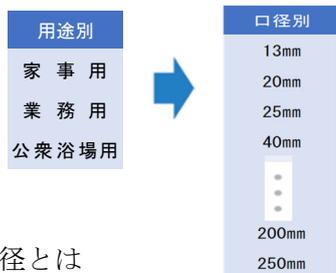
	3年度	2年度	増△減
工業用水道料金収入	27.9	27.7	0.2
純利益	7.7	7.1	0.6
累積資金残額	38.6	42.1	△3.5
企業債残高	33.3	29.0	4.3

(参考) 水道事業の主な取組

用途別から口径別料金体系への移行

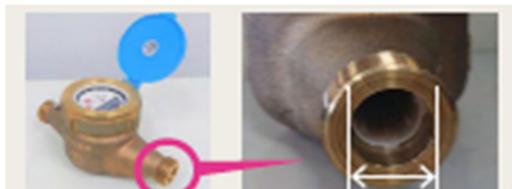
将来にわたり安全・安心な水道水を安定して市民の皆様にお届するため、水道料金の平均12%引き上げを行いました(令和3年7月1日改定)。

基本水量を廃止し、メーターの口径ごとに設定した基本料金と使用した水量に応じた従量料金をお支払いいただくことにより、分かり易い料金体系としました。



■メーターの口径とは

水道メーターの接続部分の内径を表しています。



▶料金改定の内容はウェブページでご覧になれます。

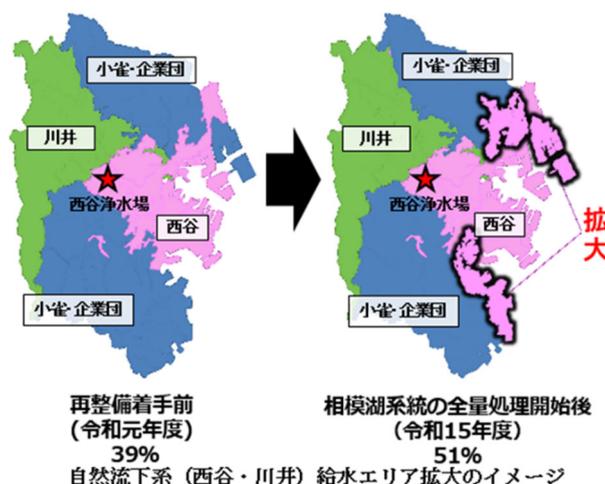
[水道料金改定に関するウェブページはこちら](#)

横浜市 水道料金改定

環境面から見た西谷浄水場の再整備

西谷浄水場は、ろ過池等の耐震化とともに、水源水質の悪化や水利権水量の全量処理に対応するため、浄水処理施設、排水処理施設の再整備及び導水路の改良に取り組んでいます。

水利権水量の全量処理が可能になることで、自然流下系浄水場からの給水エリアが**39%から51%に拡大**され、エネルギー消費量の削減など、環境面での効果も期待されます。



お問合せ先

(水道事業会計に関すること) 水道局 経理課長	中林 都	TEL 045-671-3129
(工業用水道事業会計に関すること) 水道局 工業用水課長	大矢 雅幸	TEL 045-954-3331

令和3年度決算速報

横浜市水道事業会計
工業用水道事業会計

【資料編】

令和4年7月
横浜市水道局

目次

水道事業会計

- 1 水道料金収入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況
- 2 企業債残高の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 企業債残高の推移
- 3 関連資料 水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・ 2
 損益計算書・・・・・・・・・・ 3
 貸借対照表・・・・・・・・・・ 3

工業用水道事業会計

- 4 関連資料 工業用水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・ 4
 損益計算書・・・・・・・・・・ 5
 貸借対照表・・・・・・・・・・ 5

1 水道料金収入の状況

《有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況》

	3年度 ①	2年度 ②	増減①－②	増減率(%)
有収水量(m ³)	381,471,827	384,762,936	△3,291,109	△0.86
給水戸数(戸)	1,922,053	1,907,706	14,347	0.75
水道料金収入(百万円)	73,960	69,517	4,443	6.39

※有収水量は水道料金収入の対象となった水量です。

2 企業債残高の状況

《企業債残高の推移》

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
企業債残高 (億円)	1,775	1,737	1,685	1,645	1,607	1,562	1,539	1,524	1,543	1,546
水道料金収入に対する 企業債残高の割合	2.63倍	2.59倍	2.58倍	2.53倍	2.49倍	2.41倍	2.38倍	2.39倍	2.44倍	2.30倍

関連資料

令和3年度水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分	令和3年度決算額		令和2年度決算額		増 減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率	
収 入	水道料金	73,960	81.7	69,517	79.0	4,443	6.4
	他会計繰入金	5,977	6.6	5,698	6.5	279	4.9
	浄水受託収益	1,731	1.9	1,731	2.0	0	0.0
	水道利用加入金	1,443	1.6	1,392	1.6	51	3.7
	長期前受金戻入	5,001	5.5	5,072	5.7	△71	△1.4
	その他の他	2,207	2.4	2,136	2.4	71	3.3
	特別利益	259	0.3	2,456	2.8	△2,197	△89.5
計	90,578	100.0	88,002	100.0	2,576	2.9	
支 出	人件費	11,081	14.2	11,426	14.5	△345	△3.0
	物件費等	24,694	31.6	25,275	32.0	△581	△2.3
	動力費	2,091	2.7	1,965	2.5	126	6.4
	薬品費	519	0.7	538	0.7	△19	△3.5
	修繕費等	10,246	13.1	11,178	14.1	△932	△8.3
	委託料	6,729	8.6	7,095	9.0	△366	△5.2
	消費税及び地方消費税	1,670	2.1	952	1.2	718	75.4
	その他の他	3,439	4.4	3,548	4.5	△109	△3.1
	企業団受水費	16,789	21.4	16,756	21.2	33	0.2
	減価償却費等	23,492	30.0	23,167	29.3	326	1.4
	支払利息等	2,168	2.8	2,338	3.0	△170	△7.3
計	78,224	100.0	78,962	100.0	△738	△0.9	
収益的収支差引	12,354	—	9,040	—	3,314	—	
消費税等調整額	2,324	—	2,531	—	△208	—	
純損益	10,030	—	6,508	—	3,522	—	
資 本 的 収 入	企業債	13,979	87.8	14,442	89.7	△463	△3.2
	一般会計出資金	634	4.0	233	1.5	401	172.1
	工事負担金等	1,238	7.8	1,002	6.2	236	23.5
	国庫補助金等	53	0.3	275	1.7	△222	△80.8
	その他の他	19	0.1	145	0.8	△126	△86.7
計	15,923	100.0	16,097	100.0	△174	△1.1	
支 出	建設改良費	29,176	68.1	32,609	72.2	△3,433	△10.5
	基幹施設整備事業費	4,934	11.5	5,962	13.2	△1,028	△17.2
	配水管整備事業費	22,410	52.3	19,642	43.5	2,768	14.1
	その他建設改良費	1,831	4.3	7,005	15.5	△5,174	△73.9
	企業債償還金	13,666	31.9	12,569	27.8	1,097	8.7
投資	13	0.0	11	0.0	2	22.4	
計	42,855	100.0	45,189	100.0	△2,334	△5.2	
資本的収支差引	△26,931	—	△29,091	—	2,160	△7.4	
純損益	10,030	—	6,508	—	3,522	—	
消費税等調整額	2,324	—	2,531	—	△207	—	
当年度分損益勘定留保資金	19,316	—	18,919	—	397	—	
資本的収支差引再計	△26,931	—	△29,091	—	2,160	—	
退職手当支給額	△678	—	△1,019	—	341	—	
前年度からの繰越資金	2,245	—	2,605	—	△360	—	
翌年度への繰越資金	△5,394	—	△2,245	—	△3,149	—	
計（当年度資金収支）	910	—	△1,792	—	2,703	—	
総差引	910	—	△1,792	—	2,703	—	
前年度末資金残額	17,371	—	19,163	—	△1,792	—	
累積資金残額	18,281	—	17,371	—	910	—	

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和3年度横浜市水道事業損益計算書（要旨）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位 百万円）

1	営業収益	75,843	
	うち水道料金収入	(67,243)	
2	営業費用	<u>70,705</u>	
	営業利益		5,137
3	営業外収益	6,916	
4	営業外費用	2,283	4,634
	経常利益		9,771
5	特別利益	<u>259</u>	
	当年度純利益		10,030
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		<u>9,120</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>19,150</u></u>

令和3年度横浜市水道事業貸借対照表（要旨）

（令和4年3月31日）

（単位 百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	606,957	1 固定負債	169,815
(1)有形固定資産	519,097	2 流動負債	32,570
(2)無形固定資産	11,018	3 繰延収益	72,994
(3)投資その他の資産	76,841		
2 流動資産	47,847	負債合計	275,379
		1 資本金	349,658
		2 剰余金	29,767
		(1)資本剰余金	2,366
		(2)利益剰余金	27,401
		うち当年度未処分利益剰余金	19,150
		資本合計	379,425
資産合計	654,804	負債・資本合計	654,804

関連資料

令和3年度工業用水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分		令和3年度決算額		令和2年度決算額		増 △ 減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
収 入 支 出 支 支 支 支 支 支	工業用水道料金	2,789	93.1	2,766	92.6	23	0.8
	長期前受金戻入	190	6.3	194	6.5	△4	△2.0
	その他	18	0.6	26	0.9	△8	△30.6
	計	2,997	100.0	2,986	100.0	11	0.4
	人件費	215	10.4	238	11.2	△23	△9.6
	物件費等	980	47.4	1,018	47.8	△38	△3.7
	負担金	921	44.6	959	45.1	△38	△4.0
	修繕費等	17	0.8	2	0.1	15	913.6
	その他	42	2.0	57	2.7	△15	△26.0
	減価償却費等	830	40.2	830	39.0	0	0.0
	支払利息等	38	2.0	41	2.0	△3	△7.3
	計	2,064	100.0	2,127	100.0	△64	△3.0
	収益的収支差引	933	—	858	—	75	—
消費税等調整額	165	—	148	—	17	—	
純損益	768	—	710	—	58	—	
資 本 的 収 入 支 出 支 支 支 支	企業債	676	82.1	440	79.4	236	53.6
	国庫補助金等	147	17.9	114	20.6	33	29.0
	計	823	100.0	554	100.0	269	48.6
	建設改良費	1,990	89.0	1,685	86.6	305	18.1
	工業用水道施設整備事業費	1,950	87.2	1,610	82.7	340	21.1
	その他建設改良費	40	1.8	75	3.8	△35	△47.1
	企業債償還金等	245	11.0	261	13.4	△16	△6.1
	計	2,235	100.0	1,946	100.0	289	14.8
	資本的収支差引	△1,412	—	△1,392	—	△20	△1.4
	純損益	768	—	710	—	58	—
資 金 的 収 支	消費税等調整額	165	—	148	—	17	—
	当年度分損益勘定留保資金	655	—	664	—	△9	—
	資本的収支差引再計	△1,412	—	△1,392	—	△20	—
	前年度からの繰越資金	398	—	258	—	139	—
	翌年度への繰越資金	△906	—	△398	—	△509	—
	退職手当支給額	△13	—	△20	—	7	—
	計（当年度資金収支）	△346	—	△29	—	△316	—
	前年度末資金残額	4,206	—	4,235	—	△29	—
累積資金残額	3,861	—	4,206	—	△346	—	

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和3年度横浜市工業用水道事業損益計算書 (要旨)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 百万円)

1	営業収益	2,537	
	うち 工業用水道料金収入	(2,536)	
2	営業費用	1,936	
	営業利益		601
3	営業外収益	206	
4	営業外費用	39	167
	経常利益		768
	当年度純利益		768
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		1,114
	当年度未処分利益剰余金		1,882

令和3年度横浜市工業用水道事業貸借対照表 (要旨)

(令和4年3月31日)

(単位 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	21,910	1 固定負債	3,369
(1)有形固定資産	21,896	2 流動負債	816
(2)無形固定資産	13	3 繰延収益	4,112
(3)投資その他の資産	1		
2 流動資産	5,335	負債合計	8,296
		1 資本金	13,834
		2 剰余金	5,115
		(1)資本剰余金	140
		(2)利益剰余金	4,974
		うち当年度未処分利益剰余金	1,882
		資本合計	18,949
資産合計	27,245	負債・資本合計	27,245

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。